

みちしるべ NO. 12

学校教育目標「自分から行動できる子・すすんで学ぶ子・たすけ合う子・きたえる子」



学びあい 支えあい 高めあい 笑顔あふれる学校
優しさと厳しさと温かさで
子どもを鍛え、育む地域の学校を目指して



学校評価を改善に生かす ～小さな声を聴く～ 校長 川島 正晴

10月8日金曜日、さわやかな秋空の下、子どもだけの小さな運動会が開催できました。

台風で延期になったにもかかわらずご来校いただいた保護者や地域の皆様に見守られて、権小の子どもたちは元気に校庭を走り回りました。準備や片付けには、PTAの皆様がご協力くださいました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



さて、児童、保護者、学校運営協議会の皆様を対象に、学校評価を7月に実施しました。回答にご協力いただきまして、ありがとうございました。結果を別紙のとおりお知らせします。

今回、課題として挙げられる点について、次のように改善してまいります。

- ① 「いつでも、どこでも、さわやかなあいさつ」のできる子を育てるよう指導してまいります。家庭内や地域でも御指導いただき「いつでも、どこでも」挨拶ができるよう育ててまいりましょう。
- ② 「二人で・近くの人と・教室で・体育館や校庭で」のように、場に応じて声の大きさを調節して発表できるよう指導してまいります。特に、教室の掲示物「声のものさし」を活用していきます。
- ③ 校内環境整備を進めます。敷地内の除草、ろうか等の掲示、花壇等の栽培に取り組みます。
- ④ 体力向上に取り組みます。朝の活動でチャレンジタイムを休止していましたが再開します。
- ⑤ さまざまな人権課題に取り組み、相手を思いやる心を育てます。特に、言葉遣いを指導して、自他を思いやる表現のできる子を育ててまいります。



学び合いの授業を通して、子どもたちはより積極的に学ぶようになっていますが、大きな声で発表する機会が少ないのも事実です。日々あいさつをしています、いつでも、どこでも、あいさつができるように、大人からも積極的にあいさつしてまいります。

コロナ禍でできなかったことを取り戻す。以前よりいっそうレベルの高い学校を築き、子どもたちの資質・能力を高めて「自分らしさ」を獲得できるように支えていく。今後も保護者や地域の皆様とともに前進してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。